平成27年度

全国学力・学習状況調査の結果について

海老名市立有鹿小学校

全国学力・学習状況調査について　P．１
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」　P．２
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」　P．３
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」　P．４
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」　P．５
ご家庭で取り組んでいただきたいこと　P．６
（資料）学習・生活習慣と学力との関係　P．７

全国学力・学習状況調査について

全国学力･学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された｢理科｣については、3年に一度実施されるものです。

◆ 調査の目的

（１）　児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

（２）　学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

（３）　以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

・小学校第６学年

・中学校第３学年

◆ 調査内容

（１）教科に関する調査

【小学校】

国語Ａ・算数Ａ　（主として「知識」に関する問題）
国語Ｂ・算数Ｂ　（主として「活用」に関する問題）
理科　（主として「知識」「活用」に関する問題）

【中学校】

国語Ａ・数学Ａ　（主として「知識」に関する問題）
国語Ｂ・数学Ｂ　（主として「活用」に関する問題）
理科　（主として「知識」「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

（２）児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

（３）学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的･物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成27年４月21日（火）

国語に関する調査結果

国　語　A
（主として「知識」に関する問題）

≪優れている所≫

●「書く」能力に優れています。
相手にわかりやすく伝えるには、伝えたいことの中心を明確にし、その内容に合った具体的な事例を挙げて書くことが効果的であることを理解しています。

●「漢字を読む」能力に優れています。
学年別漢字配当表に示されている漢字（招く、信念、承知）を正しく読むことができています。

≪努力を要する所≫

●「言語についての知識・理解」がもう少しです。
文の中における主語を捉えることや、漢字（浴びる、巣、病院）を正しく書くことに課題が見られます。
「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」ことは、比較的よくできていますが、「引用」とは、本や文章の一節や文、語句などを引いてくることであると理解することに課題が見られます。

国　語　B
（主として「活用」に関する問題）

≪優れている所≫

●「書く」方法を理解しています。
目的や意図に応じ、新聞の割り付けをしたり、見出しや記事を書いたりする方法（書き方）についての問題は、概ねよくできています。

●「読む」能力に優れています。
文や文章を読み、筆者がどのような事実を理由や根拠として挙げ、それについてどのような考えや意見を述べようとしているのかを捉えることができています。

≪努力を要する所≫

●「書く」力がもう少しです。
取材した内容を記事として書く場合、事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じ、取材した複数の内容を整理して書く力に課題が見られます。
また、文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くことに課題が見られます。

今後の具体的な取組

◆漢字の書き取り練習や小テスト等、これまで実践してきた取組を継続し、漢字の確実な習得を目指すとともに、漢字を日常的に文や文章の中で適切に使うことができるよう、指導の充実を図ります。
◆伝えたい内容が十分に伝わる文章を書くことができるよう、読書活動を充実させて語彙を増やしたり、いろいろな見方や考え方で表現したりする指導を充実させます。
◆説明的な文章での図表やグラフの読み取りや効果的な使い方の指導の充実を図ります。

算数に関する調査結果

算 数 A
（主として「知識」に関する問題）

≪優れている所≫

●「計算の技能」に優れています。

整数、小数及び分数の計算の意味について理解し、正しく計算することができています。特に「繰り上がりのある2位数の加法の計算」が優れています。また、「異分母の分数の減法の計算」「除数が整数である場合の分数の計算」も優れています。

●「数量関係の知識・理解」に優れています。

「加法における計算の確かめの方法の理解」や「グラフに表されている事柄の読み取り」、「式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解すること」が優れています。

≪努力を要する所≫

●「図形についての知識・理解」がもう少しです。

「示された三角形が二等辺三角形になる根拠を円の性質と関連付けて判断すること」や「円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めること」に課題が見られます。

算 数 B
（主として「活用」に関する問題）

≪優れている所≫

●「数量についての技能」に優れています。

「単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めること」ができています。

●「図形についての知識・理解」に優れています。

「平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせ」について、よく理解できています。

≪努力を要する所≫

●「数学的な考え方」がもう少しです。

「示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見いだし、その図形の性質を記述すること」や「長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述すること」に課題が見られます。これらは、全国的な課題となっています。

今後の具体的な取組

◆計算の技能は基本となる学力なので、今後も授業等で正確に解き進めることができるよう継続的に指導し、確実な定着を図ります。

◆作図の学習では、実際に作図する活動をとおして、図形の構成を図形の特徴と関連付けてとらえられるように指導していきます。

◆根拠となる考えを基に過不足なく説明することができるように、前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして論理的に考えたり説明したりする学習活動の充実を図ります。

理科に関する調査結果

≪優れている所≫

●振り子の運動の規則性の問題では、振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、おもりの重さや糸の長さの条件を変えながら考えを組み立てることがよくできています。

●養分摂取の問題では、生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析することがよくできています。

●水の三態（個体・液体・気体）変化の問題では、水蒸気は水が気体になってできたものであることを理解することがよくできています。

●蒸発についての問題では、水が水蒸気になる現象について科学的な言葉や概念を理解できています。また、打ち水の効果について、実験結果のグラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析することがよくできています。

≪努力を要する所≫

●植物の成長と条件の問題では、植物の適した栽培場所の判断において、植物の成長の様子と日光の当たり方を適用して考察することに課題が見られます。

●物の溶け方の規則性の問題では、温度の変化に伴って変わる析出量について、グラフを基に考察して分析することに課題が見られます。

●月や星の観察における方位の問題では、基本となる東西南北の位置関係の理解が不十分で、月が見える方位を判断するために観察した事実と関連付けながら情報を考察して分析することに課題が見られます。

今後の具体的な取組

◆身の回りで見られる自然や日常生活の事物・現象について、これまでに学習した内容を適用して考えたり、話し合ったりするなど、指導の充実を図ります。

◆実感を伴って理解できるよう、実験や観察する場面をより多く設定するなど、学習活動を工夫し指導の充実を図ります。

◆日頃から生活している場所の方位を感覚的に捉えられるようにするとともに、方位磁針の正しい使い方等、基本となる学習内容の指導の徹底を図り、方位を正確に捉えることができるようにします。

児童質問紙の結果より

学習について

≪よかった所≫

（注） P＝ポイント

●算数の勉強が「大切だ」と答えた児童が84%で、全国よりも約10P高い結果でした。算数の授業で、「問題を簡単に解く方法はないか考える」は6P、「問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」も10P、全国より高い結果でした。 また、理科の勉強が「好き」と答えた児童は71%で、全国より15P高い結果となり、理数系の学習への関心の高さが表れました。
●学校の宿題をしている児童は94%で、家庭学習の定着が窺えます。
●読書が「好き、どちらかといえば好き」と答えた児童は75%で、全国を上回っています。

≪課題と思われる所≫

●国語の授業で意見などを発表するとき、「うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」と答えた児童が57%で全国より5P低く、類似した質問を考慮すると、話したり書いたりすることに苦手意識をもっている児童が多いと考えられます。
●調査問題で解答時間が足りなかったとした児童が、国語Aで23%、国語Bで41%いました。

生活について

≪よかった所≫

●朝食を毎日食べている児童は99%で、全国を上回っています。
●学校の決まりを「守っている」と回答した児童は94%で、全国より高い結果です。規範意識が育ってきています。
●ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあると感じている児童は、95%です。達成感は、自信や新たな意欲にもつながります。
●人の気持ちがわかる人間になりたいと思っている児童は95%です。人に対する優しさや思いやりを大切にしていることが窺えます。

≪課題と思われる所≫

●毎日同じくらいの時刻に寝ている児童は71%で全国より低く、29%の児童は不規則な生活が心配されます。
●平日のTV視聴時間は、全国よりやや短い傾向にありましたが、1時間以上ゲームをしていると答えた児童は63%で全国より10P以上高く、生活リズムの見直しが必要です。

今後の具体的な取組

[学習面]

◆学年×10分を目安として家庭学習の励行を指導していきます。また、自分で計画的に予習や復習ができるよう、家庭の協力をいただきながら指導していきます。
◆朝読書等の取組を継続するとともに、学校図書館支援員を活用し調べ学習を進める等、読書活動の充実を図ります。
◆自分の意見を伝え合う活動を大切にした授業を、計画的に実施していきます。
◆苦手な学習も諦めずに根気よく取り組めるよう指導していきます。また、学習内容と実生活との関連を図り、児童がより意欲的に取り組む指導を心がけます。

[生活面]

◆基本的な生活習慣の定着に向け、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、学校と家庭が連携・協力しながら指導していきます。
◆同学年や異学年との関わり合いの中で、集団の規律を守る心や思いやり・やさしさ等の心情を育てる取組を継続していきます。

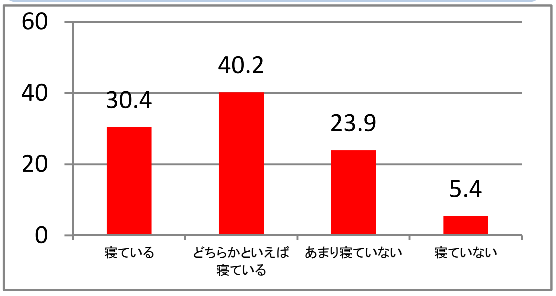
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 規則正しい生活をしましょう！

いつも決まった時刻に寝たり起きたりすることで生活のリズムができ、毎日元気に気持ちよく過ごすことができます。

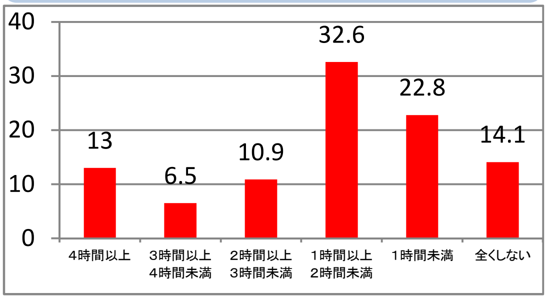
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。



2 テレビやゲームの約束を決めましょう！

テレビを見る時間、ゲームをする時間の約束を親子で話し合い、きちんと決めて守るようにしましょう。携帯電話の使い方も同様です。

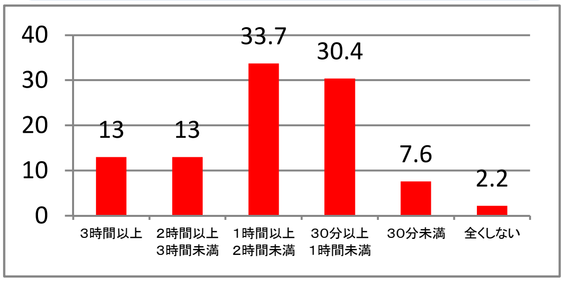
普段一日どれぐらいの時間ゲームをしますか。



3 家庭学習の習慣を付けましょう！

いつ家庭学習をするか決めておきましょう。時間は、学年×10分が目安です。

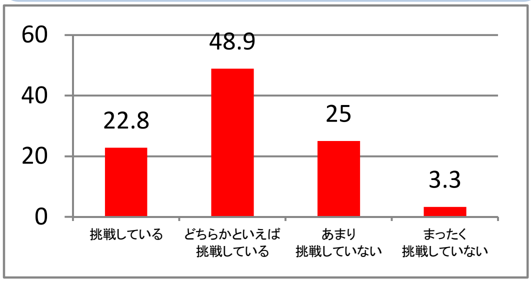
普段一日どれぐらいの時間勉強しますか。



4 挑戦する気持ちを大切にしましょう！

学習や生活の色々な場面において大切な要素です。小学生のうちから育てていきたいです。

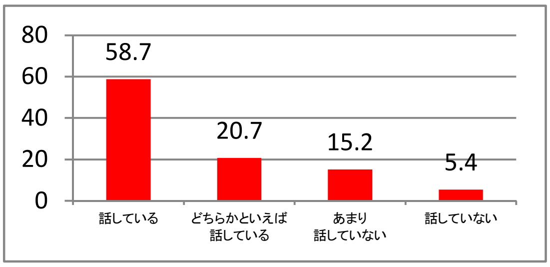
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。



5 家族でたくさん話しましょう！

学校や放課後の出来事などについて、ゆっくりと話をする時間を作りましょう。

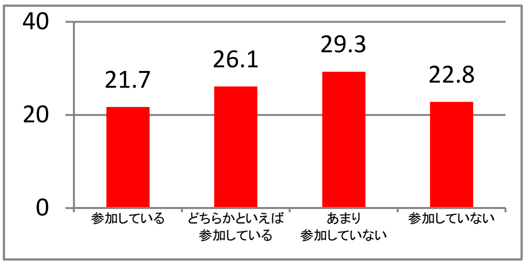
家の人と学校での出来事について話をしますか。



6 地域の行事に進んで参加しましょう！

地域の行事に参加することでたくさんの方々と知り合いになることができ、触れ合い・交流の輪が広がります。

住んでいる地域の行事に参加していますか。



資料　学習･生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。
海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

児童・生徒の学習･生活習慣と学力との関係

次のような児童･生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童･生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】

･国語、算数、理科に対する関心･意欲･態度が高い

【家庭学習・読書】

・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて勉強をする
・学校の宿題、授業の予習･復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域 の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

･学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれ しかったことがある
･先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【家庭でのコミュニケーション】

･家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【基本的生活習慣】

・朝食を毎日食べる
･毎日、同じくらいの時刻に寝る

【自尊感情・規範意識】

・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
･学校のきまり、規則を守っている
･人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【社会に対する興味・関心】

･地域や社会で起こっている問題や出来事に 関心がある
･新聞を読んでいる
･テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【メディアとの関係】

・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

平成27年11月